

平成26年9月18日
ＪＲ北海道釧路支社

「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

ＪＲ北海道では、平成26年秋の全国交通安全運動の実施にあわせ、北海道運輸局、北海道、北海道警察、交通関係協力団体のご協力をいただき、踏切事故の防止を図るため9月21日から「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、「車が動かなくなった時には発炎筒や非常ボタン等で列車を止める」ことなどの呼びかけを行います。

また、線路内立ち入りや置き石等の禁止の呼びかけを学校や幼稚園等、地域の方々と協力して行います。



踏切事故防止キャンペーン啓発活動の様子

1 実施期間

平成26年9月21日（日）から9月30日（火）までの10日間

2 実施内容

- ・ 踏切、駅頭でのリーフレット、ポケットティッシュ配布による協力要請
- ・ 小中学校・幼稚園等を訪問しポスター・リーフレット等の配布による協力要請
- ・ 主要駅・列車内での業務用放送による協力要請
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置による協力要請
- ・ 関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問し啓発活動の協力要請

3 実施計画

（別紙）釧路支社管内における事故防止PR活動

<平成26年度の踏切事故>

8月末時点における踏切事故の発生件数は4件で、平成25年度同期と比べ1件増加しています。3件は、人と列車が衝撃した事故であり、遮断機・警報機のある踏切で遮断カンを無理にくぐり線路内に侵入して衝撃して命を落とされています。

踏切手前での一旦停止と安全確認など、基本的な交通ルールを守ることが踏切事故をなくすためには、とても大切です。

(別紙)

釧路支社管内における事故防止P R活動

各地区において踏切事故防止の啓発活動を行います。啓発に際しては、ノボリを掲出し、各地区のJ R社員が踏切事故防止キャンペーン用ポケットティッシュやリフレットを配布し、J Rご利用の皆様や踏切通行者の皆様に広く踏切事故防止のお願いを呼びかけていきます。

また、一部の踏切における啓発活動につきましては鉄道警察隊の方々にも参加いただき啓発を行う予定となっております。

帯 広 地 区	10号団地踏切（西帯広駅～帯広貨物間） 9月24日(水) 11:00～12:00 ほか7踏切で啓発予定（キャンペーン期間中）
釧 路 地 区	木工場踏切（釧路駅構内） 9月22日(月) 12:50～13:30 ほか6踏切で啓発予定（キャンペーン期間中）

※ なお、当日の天候等により、一部予定を変更する場合があります。

※ 上記のほか各現業機関においても管内各踏切でP R活動を実施します。